

4

障がい者の人権／発達障がい

「いろいろな人の感じ方や気持ちを理解しよう（感覚の過敏）」

1 対象

小学校4年生～6年生

2 ねらい

感覚は人それぞれ異なるものであることを理解し、誰でも同じように快適に過ごすことのできるクラスづくりについて考える。

3 準備するもの

- テレビ（NHK for School の番組が視聴できる環境）
- ワークシート

4 解説

NHK の番組の視聴をもとに、発達障がいなどによる感覚過敏（知覚過敏、聴覚、嗅覚、触覚等の過敏）をもつ児童について理解し、感覚過敏の児童が何に困っているのか、どうしたらその子も含めたみんなが快適に過ごすことができるクラスづくりができるのかについて考えさせる活動を行う。

発達障がいのある子どもたちの多くには、感覚が過敏すぎたり、鈍すぎたりして人と違う感じ方をする「感覚過敏」が見られる。刺激は、味覚・触覚・嗅覚・視覚・聴覚などあらゆる感覚領域に対して起こり、その症状や度合いは人によって様々ある。

光に対して過敏なために教室の小さな画びょうが、キラキラ光って見えたり、マカロニサラダを食べると、まるで砂を食べているようなジャリジャリと嫌な感じがしたり、掃除機の音が爆音のように頭に鳴り響き、耳を塞がないと怖くてその場にいられなかったりする場合もある。感覚過敏は、特定の人にだけ当てはまる特徴ではなく、誰もが様々な特徴や感じ方の違いを持っており、人によって感じ方が違うことについて理解させることが大切である。

5 進め方（展開例） 45分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（8分）</p> <p>「好きな食べ物・苦手な食べ物」</p> <p>①「食べ物を食べる時に、どこで（何で）、おいしさを感じるか」について話し合う。</p> <p>例：「舌（味）」「口（食べた感じ）」「鼻（におい）」「目（見た目）」「耳（食べたときの音）」など</p> <p>②グループで話し合った内容を全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを簡単に説明する。 〔P4「学習を進めるにあたって」の内容〕を生徒に伝える。 ・4人程度のグループで行う。 ・ものを食べる時には、五感（味覚・触覚・嗅覚・視覚・聴覚）を使っていること、誰もが感覚を持っており、その感じ方は異なっていることを伝える。 	
展開 30分	<p>◆アクティビティ（30分）</p> <p>①「NHK for School 「u&i」 第2回「授業に集中したいのに…」を視聴する。（10分間）</p> <p>②ワークシートに感想を書く。</p> <p>③何人かが感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配付する。 ・グループで感想を交流させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
<p>◆人の感じ方は様々で、受け取っている情報はみな違うことを知る。</p>			

	<p>④動画の内容と似たようなことを感じたことはないかワークシートに書く。</p> <p>⑤どんな人でも過ごしやすいクラスを作るためには何ができるか話し合い、ワークシートに書く。</p> <p>⑥各グループで出した意見について発表する。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • その人に何に困っているのか聞いてみる。 • 人はいろいろな感じ方が違うことをわかることが大事。 • みんなと違うことが変じゃなくて、違うことが当たり前だから、馬鹿にしないで認め合えるクラスにする。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 他人に知られたくない児童には無理に書かなくてよいことを伝えておく。 • 自分のことを語りたい児童がいれば、その経験を語らせてもよい。 • 「周囲の音が大きく聞こえてしまい、会話や授業に集中できない」などの具体的な例をもとに話し合わせ、対策を考えさせてもよい。 • 番組で学んだことを自分たちのクラスに活かさないか考えさせる。 	
まとめ 5分	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> • まとめ話を聞く。 <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 世の中にはいろいろな感じ方をする人がおり、自分が「当たり前」と感じているものが、すべての人と同じではないことに気づく。 • 相手の気持ちに寄り添い、どのように関わることができるかを考えることは一人ひとりの違いを理解し、認め合う関係をつくることへとつながる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> • ワークシートに振り返りを書く。 		

<参考資料など>

- 「授業に集中したいのに…」 NHK for School 「u&i」第2回
 (http://www.nhk.or.jp/tokushi/ui/?das_id=D0005190171_00000)
- 「～授業で使える～福祉教育プログラム集【障害編】」
 千葉県社会福祉協議会、千葉県福祉教育推進連絡会議

いろいろな人の感じ方や気持ち^{かい}を理解しよう

()年()組()番 名前_____

- 1 番組を見て思ったことを書きましょう。

- 2 番組の内容と似た^{よう}に似たようなことを感じたことはないでしょうか。

- 3 どんな人でも過^すごしやすいクラスを作るためのアイデアを出してみましょう。

- 4 今日の授^{じゅ}業をとおして考えたことや、気づいたことを書きましょう。